

発行 金ヶ崎町保健福祉センター

〒029-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根鍮水 98 番地

TEL0197-44-4560 fax0197-44-4337

インフルエンザワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチンの接種時期になりました。

65歳以上の方には、助成票を送付しております。

内容	インフルエンザ	高齢者肺炎球菌
実施期間	令和3年10月1日(金)から 令和4年1月31日(月)まで	令和3年10月1日(金)から 令和4年3月31日(木)まで (事前に予約が必要です。)
対象年齢	接種当日満65歳以上	満65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳で肺炎球菌ワクチンを未接種の方
自己負担額	所得等により異なりますので、配布された資料をご参照下さい。	

【一般の方、小児の接種について】

【接種方法】 13歳以上の方は1回接種、13歳未満の方は、2～4週間空けて2回接種となっております。
小児の助成票を受けた方は、接種の際に必ず各医療機関に助成票をご持参ください。

【料金】 一般3,400円
13歳未満1回目3,400円、2回目2,400円(金ヶ崎診療所で1回目の接種を受けた方に限る)。

【注意事項】

- ・インフルエンザ及び高齢者肺炎球菌ワクチンは、同日に接種可能です。
- ・インフルエンザ及び高齢者肺炎球菌ワクチンと、新型コロナウイルスワクチンの接種は2週間以上空けなければなりません。両方のワクチンの接種を考えている方は、接種するタイミングに注意が必要です。迷われている方は、新型コロナウイルスワクチンの接種を優先することをお勧めします。
- ・インフルエンザ及び肺炎球菌のワクチンはすべて平日の午前のみ実施しております。
(小児は、火曜日、水曜日、金曜日に限ります)。
- ・土曜診療(第2、第4土曜日)は人数を制限し、完全予約制で接種を行っております。(0197-44-2121)



ご家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合
家庭内でご注意頂きたいこと～8つのポイント～



- ①部屋を分けましょう。
- ②症状のある方のお世話は限られた方でいきましょう。
- ③マスクをつけましょう。
- ④こまめな手洗い・アルコール消毒をしましょう。
- ⑤定期的な換気をしましょう。
- ⑥手で触れる共有部分の消毒をしましょう。
- ⑦汚れたリネン・衣服の洗濯は手袋・マスクをつけ、一般的な洗剤で洗濯をし、しっかり乾かしましょう。
- ⑧ゴミは密封して捨てましょう。



かかりつけ医またはかかりつけ医をお持ちでない方は近医に電話でご相談ください。

* 詳しくは『厚生労働省 家庭内感染を防ぐ』ホームページをご参照下さい。

たいじょうほうしん
50歳を過ぎたら、帯状疱疹ワクチンを受けることができます

帯状疱疹は強い痛みを伴う水ぶくれと赤い発疹が生じる疾患です。80歳までに約3人に1人がかかると言われています。多くは胸や背中、腕に出ますが、顔や首、頭に出ることもあります。

原因はウイルスで、小児期には水ぼうそう(水痘)として発症します。

これが治癒後も神経節などに潜み続け、体の免疫が低下した時に帯状疱疹として発症します。治療により皮膚症状がよくなっても約2割の人が帯状疱疹後神経痛になるといわれています。痛みは数ヶ月から時には数年残る事もあります。場合によっては視力低下、失明、難聴、耳鳴りなどの合併症が起こる事もあります。完全に予防できる方法はありませんが、ワクチン接種は帯状疱疹の発症予防に有効とされています。



この予防接種は帯状疱疹の発症率が高くなる、50歳から受けることができます。

接種を考えている方は、かかりつけ医や各医療機関にご相談下さい。

新型コロナウイルスワクチンを接種される場合、接種する2週間前後は

他のワクチンを接種しないように推奨されております。

接種のタイミングに注意が必要です。

～清水翔太先生から臨床研修を終えてのメッセージ📧～

国保金ヶ崎診療所は、岩手県立胆沢病院臨床研修医の臨床研修を受け入れる教育施設となっています。令和3年度は、清水翔太先生に7月1日から7月30日まで、当診療所の指導医の下、臨床研修を実施していただきました。

このたび、清水先生から研修を終えてメッセージが届きましたのでご紹介させていただきます。

金ヶ崎診療所での地域研修を受け入れていただき誠にありがとうございました。今回の研修で特に印象に残ったことは、診療所の地域に根差した医療です。訪問診療・訪問看護はもちろんのこと、外来治療も診療科を問わずに金ヶ崎診療所であるべく完結させ、また通院日程についてもバスの時間を考慮して予約を決めたりするなど、地域住民第一で動いていることが分かりました。



清水翔太 先生

私は医師を目指した高校時代、地域医療に携わりたいと考えていましたが、大学時代や初期研修期間を経て自分はどこの専門を目指そうか、自分は本当に地域医療に携わりたかったのかと思うようになりました。

そのような心境の中で、今回の研修を経て自分が関わりたかったのは「金ヶ崎診療所のように地域住民の皆様方の日常生活の中にある医療だったなあ。」と思い出すことができました。

私は3年目以降、消化器内科の専門医を目指して、研修を続けて行く予定です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。